

『3つの鍵』でひも解く

ナンニ・モレッティ入門

ばくは語ることがあるときに映画を作ってきました
ばくの映画は様々な意味で人生の断片だと言えます
人生の断片 自分から出発し自分について語るからです
人生の断片 社会・人間・生活についてその時の思いを語るからです
映画作りは人生体験でもあり、今回は今までにない体験となりました

(2001年『息子の部屋』カンヌ国際映画祭受賞記者会見より)

1 若くして世界に認められた異才

映画の専門教育を受けたわけではないモレッティ。1978年弱冠25歳でデビュー2作目『青春のくずや〜おはらい』がカンヌ国際映画祭のコンペティション部門で上映され、続く1981年ヴェネチア国際映画祭で『監督ミケーレの黄金の夢』が特別金獅子賞(審査員特別賞)受賞。1986年『ジュリオの当惑』がベルリン国際映画祭銀熊賞(審査員特別賞)受賞。1994年『親愛なる日記』でカンヌ国際映画祭監督賞を受賞し、三大映画祭を制したのは40歳という若さだった。『3つの鍵』で7作品連続カンヌ国際映画祭正式上映。

2 ホームタウンはローマ

ブラーティ地区の小学校に通い「自立人間」『青春のくずや〜おはらい』を撮影。モンテヴェルデ地区で『監督ミケーレ黄金の夢』『僕のピアンカ』『ナンニ・モレッティのエイプリル』の3部作を撮影。『親愛なる日記』をオステリア、トラステヴェレ、ガルバテッラで撮影。『3つの鍵』もブラーティ地区で撮影された。

3 マルチな才能

映画監督のみならず、俳優として出演もし、プロデューサー、脚本家、映画館館主を務める。若い時は優秀な水球選手だったスポーツマンでもある。

4 音楽との結びつき

モレッティの映画と音楽はとて深く結びついている。「Le canzoni nei film di Nanni Moretti (ナンニ・モレッティの映画の中の歌)」(Claudio Chianura著)が出版されている。『息子の部屋』の“By this river”(ブライアン・イーノ)、『ローマ法王の休日』の“Todo cambia”(メルセデス・ソーサ)、『親愛なる日記』の“ザ・ケルン・コンサート”(キース・ジャレット)など音楽を聞くとシーンが目に見えかぶ。

5 笑いと言肉

彼の映画に欠かせないもの。デビュー作からコメディを撮り続け、『息子の部屋』や『母よ、』の人間ドラマでさえユーモラスなシーンを必ず入れていたが『3つの鍵』で封印する。

PROFILE

1953年8月19日トレンティーノ=アルト・アディジェ州ブルーニコ生まれ。ローマで育つ。1976年長編デビュー作「自立人間」を発表。この作品で続く4作品に登場するモレッティの分身“ミケーレ・アピチェッラ”が初めて登場した。1981年『監督ミケーレの黄金の夢』でヴェネチア国際映画祭審査員特別賞受賞。1986年には『ジュリオの当惑』でベルリン国際映画祭審査員特別賞、1994年に『親愛なる日記』でカンヌ国際映画祭監督賞を受賞し、2001年『息子の部屋』でパルム・ドールを受賞。『親愛なる日記』以降全ての作品がカンヌのコンペティション部門で上映され、2012年には審査委員長を務めた。

ナンニ・モレッティ
NANNI MORETTI



FILMOGRAFIA



1976 (監督/脚本/出演)
出演:ルチャーノ・アガティ、シモーナ・フロジ

ミケーレは父親から経済的な援助を得てローマのアパートに住み、友人ファビオが芸術監督を務める実験的劇団の舞台稽古に1日の大半を費やしている。妻シルヴィアには捨てられ息子アンドレアの世話をしている。専制的でややサディスティックな演出家に翻弄される劇団員の不運を描く。



1981年(監督/脚本/出演)
出演:ラウラ・モランテ、ピエラ・テッリ、エズボスチ

若い映画監督ミケーレは自分の作品が誤解されていると不満を抱いている。なんとか新作の撮影を進めているのだが、不安から恐ろしい悪夢にうなされるようになり、美しいシルヴィアという女性への嫉妬に苛まれ狼男になってしまう。



1985年(監督/脚本/出演)
出演:フェルテッラ・セリガ、エンリカ・マリア・モドゥコ

若い神父ジュリオが長い巡礼の旅を終り、若くしてローマに帰ってきた。彼は家族や友人たちとの平和な暮らしを望んでいたのだが、彼らの多くは奇立ちを募らせ鬱状態の者もいた。再び旅に出ることを決意したジュリオに友人シーザーの結婚式を執り行うよう両親が説得する。ジュリオがローマを離れると...



1993年(監督/脚本/出演)
出演:ジェニファ・ヒールズ、レナト・カルペンティエリ

3つの章(バスに乗って/島めぐり/医者めぐり)から構成される監督ナンニ・モレッティの映像による日記。



2001年(監督/製作/原案/脚本/出演)
出演:ラウラ・モランテ、ジャスミン・トリンカ

精神分析医ジョバンニは突然の事故で息子を失う。残された妻、娘それぞれが悲しみに包まれる。ある日、息子につきあったという少女から手紙が届く。

Blu-ray 発売中 ¥5,280 (税込) 発売元:アイ・ヴィー・シー © 2001 - STUDIOCANAL - SACHER FILM - Tous Droits Réservés.



2011年(監督/製作/原案/脚本/出演)
出演:ミッシェル・ピコリ、イジー・シュトル、マルグリタ・ブイ

コンクラベ(法王選挙)で選出された無名の枢機卿は、就任を前に重圧に耐えきれずローマの街に逃げ出してしまふ行方不明になる。ヴァチカンはその事実を隠し秘密裏に行方を追う。

DVD 発売中 ¥1,257 (税込) 発売元:ギャガ © Sacher Film, Fandango, Le Pacte, France 3 Cinéma 2011



2015年(監督/製作/原案/脚本/出演)
出演:マルグリタ・ブイ、ジョン・ボウロ

撮影中の新作が思うように進まない上に、反抗期の娘をかかえる映画監督の母に重い病気が見つかる。家族との大切な時間を過ごすとする彼女が選んだのは、

DVD 発売中 ¥4,180 (税込) 発売元:キノフィルムズ/販売元:ギャガ © Sacher Film, Fandango, Le Pacte, ARTE France Cinéma 2015



1978年(監督/脚本/出演)
出演:ルイザ・ロッカ、グラウコ・マウリ

大学生ミケーレと仲間4人は、高校時代は共に政治活動に参加したが今は、現代社会に幻滅し現実と折り合いをつけるのに苦勞している。不満を解消するためにあれこれ活動をしているのだが、気がつけばミケーレを除く3人はそれぞれの道を見つけている。



1984年(監督/脚本/出演)
出演:ラウラ・モランテ、ダリオ・カンタレリ

ミケーレは欠点と恐怖に支配されている一人暮らしの青年で、周囲の人々は現実の強迫観念的な観察者だ。友人、とくにカッピレを観察しその調査結果をカードにして保管していたのだが、隣人や友人が奇妙な殺人事件に巻き込まれる。ミケーレはフランス語教師ピアンカとつきあい始めるのだが。



1989年(監督/脚本/出演)
出演:シルヴィオ・オルランド、マリエラ・ヴァレンティ

イタリア共産党員のミケーレは、シチリアで行われた水球の選手権に向かう。途中に遭った交通事故が原因で、軽い記憶喪失になる。ミケーレは混乱した際と理解できないことだらけのまま試合に出場する。自分自身が認識できない現実を再確認することで失われた記憶を取り戻そうとするのだが。



1998年(監督/製作/原案/脚本/出演)
出演:シルヴィオ・オルランド、シルヴィア・ノーノ

右翼の勝利に狼狽したモレッティはベラルルス・ココニとの利害の対立をテーマにしたドキュメンタリーの制作を計画するも、中断を余儀なくされる。同じ頃妻の妊娠が判明し、息子ピエトロが誕生(4月18日)する。子育てに熱中しながらも、映画の制作は進行していく。



2006年(監督/製作/原案/脚本/出演)
出演:シルヴィオ・オルランド、マルグリタ・ブイ

数々の名作を生み出したB級映画のプロデューサー、ブルーノはヒットに恵まれず新作の資金繰りに苦勞している。妻との関係も破綻寸前。なんとか結婚も映画制作も修復しようともがく彼の前若くは監督が脚本を持って現れる。



CARO DIARIO

VERSIONE RESTAURATA

un film di NANNI MORETTI

con NANNI MORETTI RENATO CARPENTIERI ANTONIO NEIWILLER



親愛なる日記

レストア版

カンヌ国際映画祭 コンペティション部門 正式上映

3つの鍵 TRE PIANI

2021年(監督/製作/脚本/出演)
出演:マルグリタ・ブイ、リカルド・スマルチョ、アルバ・ロルヴァケル

ローマの高級住宅街。ある夜、建物に車が衝突しその事故で女性が亡くなる。運転していたのは3階に住む裁判官夫婦の息子だった。夫が長期出張中の2階のモニカは陣痛が始まり、たった一人で病院に向かっていた。1階の夫婦は仕事場が崩壊したので娘を向かいの老夫婦に朝まで預けた。扉の向こう側に隠していた3つの家族の秘密が少しずつ明らかになる。彼らが苦しみのもとにした未来の扉を開く鍵とは?



初めての原作の映画化

Capitolo
IN VESPA

『3つの鍵』公開 × BUON 30° ANNIVERSARIO

撮影開始から30年、1992年30年前のローマの夏はこんなにも静かで美しかった。

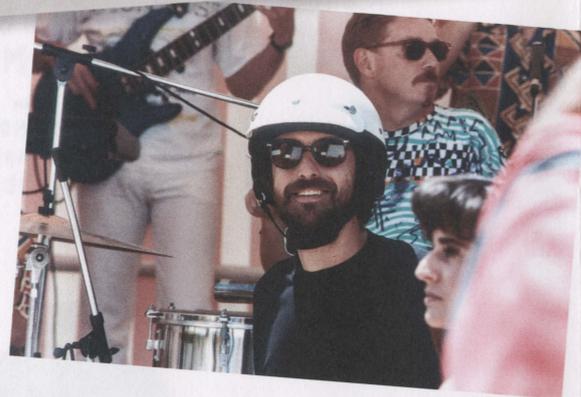


ナンニ・モレッティの

〈みんなが大好きな映画〉が約30年ぶりに映画館に戻ってきます。

ローマとシチリアの島そして病院をぐるぐるめぐる映画監督の

親密でおかしくてちょっと辛辣な映画。



第1章

「ベスパに乗って」

風を切って気ままにベスパを走らせ
ところどころで立ちどまる

8月の人気のないローマをベスパで巡る映画監督モレッティ。
観光ガイドにはのっていないローマ人ならではの愉快的ローマ案内。



第2章

「島めぐり」

海と風と太陽
旧友とたわいのないことだけを話す

ユリシーズ研究者の友人を訪ねて、
エオリエのリバリ島に向かうモレッティ。
しかし友人の家は町を中心にあって喧騒はローマ並み。
2人はリバリ島からサリーナ島に向かうのだが、
そこにも問題はあって、エオリエ諸島を巡ることになる。



第3章

「医者めぐり」

人生の一瞬一瞬に
価値を見出すようになる

突然襲われた激しいかゆみのために、皮膚科を受診するモレッティ。
薬を処方され治療に励むのだが症状は一向に改善せず、
ひどくなる一方。皮膚学界のプリンスや民間療法など様々な病院の
様々な治療を試すのだが、最後に衝撃的な診断が下される。



現代の映画人の分身が、人生と芸術の境を
みごとに消し去ってみせる。

—The New Yorker

オフビートの楽しさ

—The New York Times

親密で笑える

—The Village Voice

現代映画における〈映画監督の日記〉という

ジャンルを再発見した見事な作品ですが、
実際に作るのはそれほど簡単なことではありません。

—ティエリー・フレモー カヌ国際映画祭総代表

親愛なる日記

レストア版

第47回カンヌ国際映画祭最優秀監督賞受賞
1994年カイエ・デュ・シネマ誌年間ベストワン

監督・脚本：ナンニ・モレッティ 編集：ジュゼッペ・ランチ 音楽：ニコラ・ピオヴァーニ 編集：ミルコ・ガローネ 衣装：マリア・リタ・バルベラ 美術：マルタ・マフッチ
サウンド：フランコ・ボルニ 助監督：リカルド・ミラーニ プロデューサー：アンジェロ・バルバガット/ナンニ・モレッティ/ネラ・パンフィ
出演：ナンニ・モレッティ/ジェニファー・ビールス/アレクサンダー・ロックウェル/カルロ・マッツァクラティ (映画批評家)/レナート・カルペンティエーリ (旧友ジェラルド)
クラウディア・デラ・セータ/ロレンツォ・アッサンドリ/ラファエラ・レボロニ/マルコ・パオリニ (サリーナ島)/アントニオ・ナイヴィアー (ストロンポリ島の村長)
モーニ・オヴァディア (アリクティ島の隠者)

Written and Directed by Nanni Moretti Director of Photography: Giuseppe Lanci Original Score: Nicola Piovani (Emergency Music Italy) Editor: Micro Garrone
Costumes: Maria Rita Barbera Production Designer: Marta Mafucci Sound: Franco Borni Assistant Director: Riccardo Milani Producers: Angelo Balbagallo Nanni Moretti Nella Banfi
Cast: Nanni Moretti Jennifer Beals Alexander Rockwell Carlo Mazzacurati (Film Critic) Renato Carpentieri (Gerardo)
Claudia della Seta Lorenzo Alessandri Raffaella Lebboroni Marco Paolini (Couples in Salina Island) Antonio Neiwiller (Mayor of Stromboli) Moni Ovadia (Lucio)

1993年/伊仏合作/製作:SACHER FILM BAN FILM LA SEPT CINEMA STUDIO CANAL PLUS /製作協力:RAI UNO CANAL PLUS
1時間41分/カラー/ヨーロッパビスタ/ドルビー・ステレオ 日本語字幕:吉岡芳子

PRESENT! 『3つの鍵』『親愛なる日記』
2作品ご鑑賞いただいたお客様へ

『親愛なる日記』上映回にて両作の鑑賞チケット半券またはご予約完了画面
をご提示いただいた方の中から、抽選で各日1名様にワインをプレゼント。

- ヒュマントラストシネマ有楽町:9月23日(金)~25日(日)の3日間、各日1名様
- 新宿武蔵野館:9月25日(日)1名様
- アップリンク吉祥寺:9月25日(日)1名様
- シネ・リーブル梅田:9月25日(日)1名様

当日一般料金1,600円 詳細は劇場HPにてご確認ください。

『親愛なる日記』第2章〈島めぐり〉の舞台シチリア
から、古いフランス語で“人生を楽しむ人”を
意味する、微発泡のシャルドネワイン「ヴィヴール
(フナロ)」をプレゼントいたします。

※対象は20歳以上となります。場合によっては年齢が分かる
身分証のご提示をお願いする場合がございます。『3つの鍵』の
鑑賞券は他館も対象となりますが、『親愛なる日記』は抽選当日
ご覧いただく映画館の鑑賞券のみ対象とさせていただきます。
提供:スリーポンド貿易株式会社



9.23 [Fri] 公開

有楽町イトシアイトシアプラザ4F
イトシアシネマグループ
ヒュマントラストシネマ有楽町
03(6259)8608 ttcg.jp

JR新宿駅中央東口 徒歩2分 武蔵野ビル3F
新宿武蔵野館
03(3354)5670
shinjuku.musashino-k.jp

吉祥寺PARCO B2F
UPLINK 吉祥寺
0422(66)5042 joj.uplink.co.jp

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F
イトシアシネマグループ
シネ・リーブル梅田
06(6440)5930 ttcg.jp

9/30 [Fri] 公開
伏見
ミリオンスター
052(212)2437 eiga.starcat.co.jp

烏丸御池駅 南改札口直結 新風館B1F
UPLINK 京都
075(600)7890 kyoto.uplink.co.jp

秋 公開
京浜急行黄金町駅 市営地下鉄阪東橋駅 5分
ジャック&ベティ
045(243)9800 jackandbetty.net

ナンニ・モレッティ監督最新作『3つの鍵』9月16日(金)公開!